

□トランペット片手にブラジル一人歩きへ5

ブラジルで初めてのジャズ・レコードを吹き込んだ

サンパウロ・デキシランダーズと ブッケル・ピートマン

右近 雅夫

〔在ブラジル・サンパウロ／絵も〕



フレイカネツカ通りに、マックスとイヴェッテというベルギー夫妻が住んでいた。通りに面した方から見ると、二階建の普通の住宅だったが、裏側が急斜面で半地下のボタン工場になっており、五、六人の女工さんを使って婦人服用のねりボタンを作っていた。マックス夫婦は大の働き者だったが、仕事の合間には二人で油絵を描いたり、イヴェッテは何処かの合唱団に属していたらしく、夫婦揃って芸術一家であった。フィリップの口ぎ

きで、マックスは地下のボタン工場の片隅にピアノを置き、土曜の午後から、僕等のジャズバンドの練習場に開放してくれた。お蔭で我々のレパートリーも増え、まもなく近代美術館で催されたジャズ・コンサートに出演したのを皮切りに、カナル・7のテレビや、あっちこちのパーティーなどで演奏する機会を得た。

そうしたある土曜日の夜、例によってマックスの家に行くと、興奮じみた表情で、ピアニストのエドワルドがロベルトとマックスの親父に、フラ

ンス語で何か話していた。僕は横手でバンジョーのチューニングをしていたブラジル人のドウドウに「一体何事が起こったんだ？」と尋ねたら、今夜はフィリップがアメリカの黒人の素晴らしいクラリネット・プレイヤーを連れて来ると説明してくれた。

しばらくして、フィリップと一緒に入って来たその黒人は、不精ひげを生やし、やや痩せ衰えているように見えたが、何となく人なつっこそうな笑顔で、親し気に話しかけてきた。彼はブッケル・ピートマンといい、ダラスの町で幼年期を過ごしたが、当時ニュー・オルリンズからやってきたジョニー・ドッツズのクラリネットを聞いて感化され同じカレッジのバッド・ジョンソンやサミー・プライスなどと学生バンドを組んでその道に入ったのが始まりで、シカゴからニューヨークに出て、ベニー・モートン、ビル・コールマン、チャー・ベリーやホット・リップス・ペーじといった、いずれもジャズの歴史に名を連ねた人達と共に仕

事をしたそう。

一九三三年、彼はパリに渡り、当時、ヨーロッパを訪れたルイ・アームストロングの一行と共に、フランスのジャズ界で活躍した。一九三九年に大戦が勃発すると、彼はリオに現れ、カジノ・アトランティコのオーケストラで演奏していた。

その後、アルゼンチンに渡った彼は、商業的な音楽をやることにいや気がさし、再びブラジルに戻って来た時は、落ちぶれて北パラナのカフェ・ザールを転々としていた。ちょうど綿のプランテーションで働いていたバンク・ジョンソンを見つけ出し、ニューオルリンズジャズの生き残りトランペット奏者としてカムバックさせたのと同じように、その当時、セールスマンをしながらパラナの片田舎を旅していたフィリップが、偶然ブツケル・ピートマンを見つけ出し、サンパウロへ連れ帰

ってきたのである。

僕はブツケルをピアノのあるボロンに案内、彼はロベルトのクラリネットを借りるとしばらく試していたが、僕等が△タイガー・ラグ▽を演奏し始めると、素晴らしいフレージングで合奏からブレイク、そしてソロをやると、僕等はもう彼の迫力に圧倒させられてしまった。ついで彼の希望で、エドワルドが△シュー・シャイン・ボーイ▽の前奏を弾くと、彼はあのニグロ独特のしゃがれ声で歌い出し、僕等は夜の更けるのも忘れてジャズった。

偉大なスタープレイヤーを得た我々のバンドはその名もサンパウロ・デキシランダースと改名一九五六年の五月にブラジルで初めてのジャズのレコードを吹き込んだ。SP盤でタイトルは、

THE FIRST ORIGINAL JAZZ RECORD OF

BOOKER PITTMAN AND "THE

SÃO PAULO DIXIELANDERS"

となっており、曲目は、△BUGLE

CALL RAG△と△DARKTOWN

STRUTTERS' BALL△(三曲)

メンバーは両面共、クルト・ヴァン・

エルグ(ホルネット)、マサヲ・ウコン(ト

ランベット)、ブツケル・ピートマン(クラ

リネット)、フィリップ・クロコデル(トロ

ンボーン)、エドワルド・ヴィドスイツチ

(ピアノ)、ドウドウ(パンジョー)、ヘンク・

ウアックウイツ(ドラム)とラベルに印刷されている。



□第六回

神戸文学賞 神戸女流文学賞 作品募集

小誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。これを機に有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動の一層の発展のために微力を尽したいと願っております。過去の受賞作品は次の通りです。

・第一回神戸文学賞「島之内ブルース」(田藤新) 尼崎市 同女流文学賞「ベットの背景」(小倉弘子) 大阪市
・第二回神戸文学賞「姥捨て」(奥野忠昭) 大阪府柏原市 「生活」(吉峰正人) 神戸市(この回の神戸女流文学賞は該当なしで、神戸文学賞を二作が受賞)

・第三回神戸文学賞「自由と正義の水たまり」(斎藤一) 奈良市 同女流文学賞「夢の消滅」(大原由記子) 高知市
・第四回神戸文学賞「溶ける闇」(高木敏克) 神戸市 同女流文学賞「影と棲む」(田口佳子) 伊丹市
・第五回神戸文学賞「該当作なし、同女流文学賞「痕跡」(久保田匡子) 大阪市

ここに第六回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

〈募集要項〉

一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者で応募作品は一篇に限ります。
一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。
一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品主題(創作主旨)をつけて下さい。

一、締切りは八月一日(当日消印有効)

☆なお、選考は小誌ならびに小誌が依頼した選考委員によって行います。

一、入選発表は本誌昭和五十七年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。
一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。

一、入選作品の著作権は本誌に属します。
一、入選作品各一篇には副賞として賞金二拾万円が贈られます。

一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一―三の一大神ビル七階月刊神戸「神戸文学賞係」まで。
電話〇七八―三三一―二二四六

主催／月刊神戸っ子

九響と札幌の合同演奏会

水谷 額介△都市計画家▽

去る4月28日、福岡サンパレスの開館記念公演、九州交響楽団と札幌交響楽団の合同演奏会を開くことができた。指揮は札幌の音楽監督正指揮者でもある岩城宏之。曲目は、まず、黛敏郎の「BUGA KU」、ベートーヴェンの「運命」

それから、今回のメインエヴェントである九州初演ともいわれるストラヴィンスキーの「春の祭典」だった。

120人の大編成の熱演、快晴だった春の夕べに、久しぶりに音楽による胸のときめきを感じた。

「単独の楽団では演奏できない『春の祭典』という大曲を、福岡サンパレスの開館を機会に合同でやってみよう」と岩城氏が発案して、この北と南の地方のプロオーケストラ同士の競演が地方都市において、実現したのだという。「運命」を演じた、コンサートマスター、九響の岸辺百雄氏は、「春の祭典」では、札幌のコンサートマ

スタールイ・グレラー氏に交代した。アンコール曲は、外山雄三の「ラブソディ」。八木節のメロディ、太鼓の響きが鳴り止んで、拍手が続く中で、指揮者による各パートの紹介で締めくくられた。

福岡サンパレスは、福岡勤労者福祉センターが事業主体で、東京中野のサンプラザ・名古屋のサンプラザと同系であり、客席数が2322席のホールと会館棟に会議場・宴会場・レストラン・ホテル・結婚式場等がある。福岡市には、地方中心城市であるため、この種の官民諸団体の全国ネットワーク施設が数多くあり、そういうたぐいの施設を誘致したりしないで、市県等が自前で作ってきた施設しかないともいえる神戸市とは、対照的である。

建築としての福岡サンホールの特徴は、建物の仕上げが内外とも昨今のお金のかかった公共施設の事例に比べて質素なことである。音響効果がいいことが、九響、札幌によるこけら落としで実証されたホール内部も、ほとんどがコンクリートベンキ仕上げである。

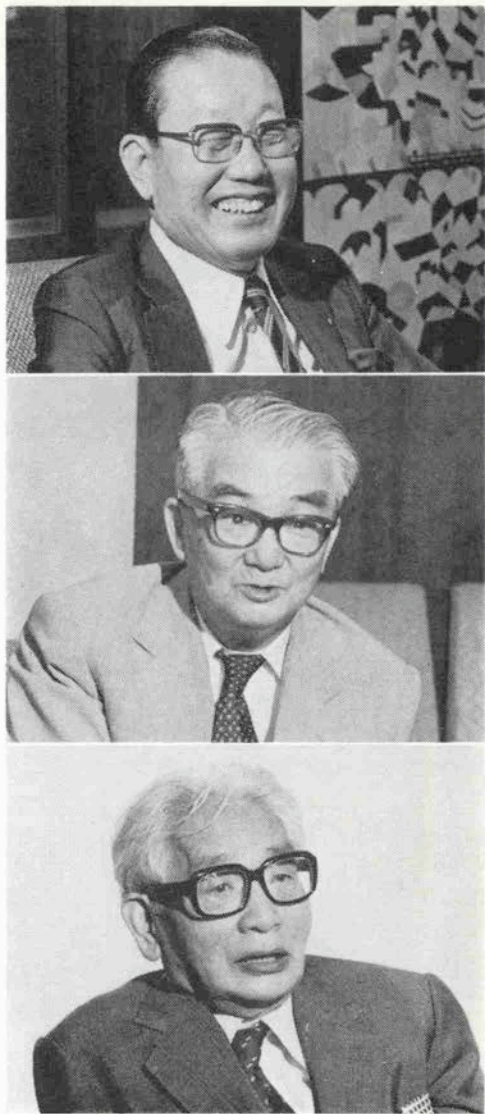
福岡市の都市計画からみて、福岡サンパレスは、将来はなお一層重要な位置をしめている。敷地は

博多港発祥の地という由緒のある一帯で博多区築港本町、博多船だまりを埋め立てて配置された。隣接地には、11月の大相撲九州場所によって、これまたこけら落としが行なわれる「国際センター」と名づけられた多目的展示場が建設中である。東公園に位置が決定され近々これまた完成する県庁舎の敷地候補地だった穴埋策として、これらの施設が投入されたということだが、博多湾・博多港に臨む港町福岡市にとって、この臨港地区（ウォーターフロント）が大事な場所であることは間違いない。高さ54mの円筒型タワーの上階にある地上40mの展望ロビーからは博多港・海の中道・志賀島・能古島へと続く海と博多駅前・天神・福岡空港周辺へとひろがる市街地の接点にあるこの位置の背景を望むことができる。

現在、福岡市は、博多湾に沿った市街地のほぼ全域の前面埋立てを伴う「博多港湾整備計画」をすすめるようとしている。この計画がどんな実行されてしまうと、いまでさえ博多・福岡が港に面した町であることを忘れがちな市民をさらに海から遠ざけてしまうだろう。

5月31日には、サンパレスホールで、地方における音楽文化活動としての実績が高く、サントリイ地域文化賞も受賞した大分県民オペラの創作オペラ「吉四六昇天」（台本阪田寛夫、作曲清水修、特別出演立川清登）が公演された。

▲サンパレスは市街を側に前庭と円塔を配置している。左の方形の屋根をもつ建物が建設中の国際ホール。後方に志賀島渡船や老舗・対馬航路の発着場があるポート・タワーが見える。



神戸はハイカラが板についている

宮崎 辰雄（神戸市長）・淀川 長治（映画評論家）・柳原 義達（彫刻家）

海上文化都市ポートアイランドで、日本中の熱い視線をうけて博覧会が開かれている。祭に沸く神戸で三中の同窓生3人が感激の再会を果たした。市政に、映画に、彫刻にと、情熱をもやして歩んできた男たちの共通の想いは、ハイカラ神戸への讃歌。昔のままの良さを保ちながら新たな魅力を身につけていく神戸の姿に話はずんだ。

50年ぶりの再会——「あんたあのギヤナさんか」

淀川 懐しいなあ。宮崎さんとは時々お会いするけれど柳原さんとは50年ぶりぐらいやな。あのギヤナさんが柳原さんやろかと思っただけ、やっぱりそうやった。長生きしたお蔭で、こんな会にも出て本当によい。柳原さんはこちらへは博覧会でお見えですか。

柳原 今、神戸市が僕の彫刻展を国際交流会館でやって

くれているんです。僕は最近クラスや鳩とはかり話して話の世界から遠ざかっているが、今日は淀川さんみたいな話上手の人と一緒に気が楽や。僕と淀川さんが三中の三回生で、宮崎さんが四回生やね。淀川さんとは実は、前にほんの少しだけ顔を合わせてるんだ。亡くなった佐々木克己先生を囲んで東京駅に三回生で集まった時、淀川さんはちょっと来て「今、忙しいけど先生の顔をみたくて」と佐々木先生に一分ほど話されて、すぐ出ていか

れた。

淀川 そう、そんなことがあったかな。佐々木先生には一回生か二回生が呼んだ時にゆっくり話した。いい先生やったな。

宮崎 柳原さんはどうしてギヤナいうてたの。

柳原 僕の姉がやかましかったんやろな。当時の第一県女に入ってギャンギャンさんというあだ名やった。それが僕のところへ来たらギヤナになった。ギヤナのナは柳原のナや。

淀川 うまいあだ名やな。感覚がええな。僕はな、柳原さんは大体細長い人やったし色も黒かったから、アフリカのギアナ族かと思てた。三中の英語の斉藤先生、もう亡くなられたけど、お尻出して歩くからホッテントット言うてたの。ギヤナさんもギアナ族からかと思てたの。

宮崎 それで淀川さんはなんて言うてたの。

柳原 淀川ちようじうのがあだ名やった。当時から淀長^{ちよう}やったね。宮崎さんはどうだった。

宮崎 僕はボインというあだ名やった。漢文の時間に廣田康雄^{ひろた たけお}いう先生が僕をあてて、「宮崎^{みやざき}鑑^{かん}圃^ぼその背に灸せしに泣きぬ」という文章を読ませたんだ。頼山陽の文やったかな。それがおかしいというんであだ名になったんだが、インボはちよつと変だから、ボインになった。

淀川 やっぱり宮崎さんは秀才やったな。そんな所からあだ名が出るなんて、なかなか筋がええな。おとなしい



花森安治のあだ名はオンピキやった



親父は弁護士で極道ばかりじゃった



市長いうのは何でもやらんといかん

上品な人やったように記憶してるけど。

宮崎 それにものすごく男前やった。卒業アルバムを見てもらったらわかる。だんだん悪くなったけど。

淀川 元から悪かったんじやないの。(笑)僕は市長さんが男前やったというのは初めて聞いたな。それは一べん見せてもらわんと。冗談はともかく、同じ三中の同窓生が片や市長さん、片や彫刻家、どうしてそんな道に入ったの。

柳原 僕はね、あまり勉強も好きじゃなかったし、体も弱かった。近藤英也校長や佐々木先生が親と会ってね、「この子は勉強させなくてよい。絵書きにでもしたら」とその時に話がついたようです。それから運動をして体を丈夫にすることから始めて、一中の日本画の先生に絵を習いに行った。その時分は劣等生でね。宮崎さんみたいに四年から高等学校に行くなんて神様みたいや。

淀川 そやけど近藤校長はえらいな、今そんなこと言う先生はおらん。

宮崎 当時、日本校長会の会長をしてらしたそうですよ。有名な方で、スバルタ教育とか軍国主義教育の時代に、「ゼントルマンシップ」言うてた。他の学校ではゲートル巻いてたけど僕らはそんなことせずにすんだ。結局、紳士にはなれなかったけど。(笑)それで、柳原さんが初め画の方に進まれて彫刻へ移られたきっかけは。

柳原 僕はね、日本画でスタートして中学を出てから京

都で3年、福田平八郎さんについて勉強してた。当時の画壇の風潮は細密描写でね。ところがある日神戸に帰ってきて平凡社から出てた美術全集を見た、ブルーデルとかロダンの写真がのってた。これにはたまげた。親父の出身が奈良で仏像に接する機会は多かったのですが、彫刻自身のもつ美に打たれ、すぐ東京へ出て美術学校へ入った。

宮崎 しかし、よう美術学校へ行ったね。他の数学とか国語なんかもあるんでしょう。

淀川 今の市長さんの言い方失礼やね。(笑) どうか、この侮じよくの仕方は。(笑)

柳原 まあ学科もあるけど、実技が主体ですからね。三中もそうやったけど、東京美術学校という所は好きな者ばかり集まってきたからね。先生の朝倉文夫や北村西望にしたって劣等生、今でいえば落ちこぼれですよ。

淀川 そらそうや。人間は一つのが好きやったら、他のことにそう手は回らんもの。芸術やろうという人は特にそうや。市長さんみたいに全甲で、あちこちに気がつくというわけにはいかんわ。宮崎さんは秀才一筋で歩まれた方やけど、どんなわけで市長さんになったの。

宮崎 そら、道を誤ったからや。(笑)

淀川 うそばっかり。

宮崎 いや、僕はもともと大学の先生になりたかった。

末は博士か大臣か、といってたでしょう。ところが姫高で昭和4年に河本敏夫が練兵場の兵隊を前にして反戦演説をぶつという有名な事件があった。河本が学校を追いつ出される時に、処分反対のストをやって僕も処分された。仕方なく立命に行きなおし、卒業してからは行く所がないから市役所の試験をうけた。それからはトントン拍子や。局長になったのが30くらいの年で、もう12年市長やっている。

淀川 こんなこと正面から聞けたの初めてね。よかったわ。そやけど、市長さんの仕事というのは、朝から晩まで大変やね。よう四人も子供つくる暇あったことやね。

宮崎 そら、子供できたのはもっと下っぱの時です。

淀川 そやろな、今もうあかんやろな。(笑) 中学の同級生いうのは、こんだけ相手が立派になられても、こうやって気楽にしゃべれるのがうれしな。僕は映画以外のことやつとったら頭わるいからまんと思つて、中学出ただけや。

宮崎 しかし、それ一筋にこれたいうのは大したもんや。

淀川 一筋にしかでけん。他のことでけんねんもん。銀行員なんて、こんな勘定して計算することはダメや、思たな。映画やったら机の前に映画の本があつて、後ろにポスターがあつて、これなら月給いらんと思つた。初め映画世界という会社勤めて、それから帰つてきてエバンタイユに2年いた。その後、ユナイテッド・アースに入つて戦争すむまでいましたけど、映画一筋で他のことは知らん。宮崎さんやギヤナさんのようなえらい人にはなれんかったな。僕もみんなのあきらめて、作家にでもなつた方がよかつたな。(笑)

エバンタイユとステラ・ガラス——懐しい思い出

宮崎 淀川さんの姉さんがやつていたエバンタイユというのはどんな店だったの。

柳原 生田筋の所にあつたのを覚えてる。輸入洋家具を扱う随分洒落た店やつたね。そこで淀川さんのお母さんにお会いしたことがある。それに元町の三星堂で、あなたが若い子を集めて映画の話をしてたのに「聞きこい」と言われて行つたことを覚えてるよ。

淀川 へえ、そんなことあつたの。エバンタイユを手伝いながら三星堂やユーハイムでそんなことをやってたんだ。20才ぐらいかな、あなたみたいな賢い先生に「聞いてよ」なんて言つた時代があつたんやね。エバンタイユへは誰が行つたの。

柳原 あなたに連れて行かれたんだよ。(笑)

淀川 エバンタイユは竹中郁さんが名前をつけてくれた。アール・エバンタイユ、仏語の扇という意味や。あ

んな難しい名前やから世間に知れるまでに二年かかった。エバンタイユのことで、一つ訂正してもらいたことがあんだけど、前に郁さんがエッセイで池長孟さんが私の姉さんにやらせてた店やと書いてました。(本誌4月号「私のひろいもの」) あれは郁さんの感じがいや。姉さんは池長さんと別れてから発奮してエバンタイユをつくったの。

宮崎 僕も映画は好きでしたよ、淀川さん。宝塚にもよく行ってた。ステラ・ダラスなんてよく覚えてる。

淀川 あんたもそんな下品な時あったの。(笑) 市長さんがそんなことしてたなんてテープから消しとかなあかんよ。(笑) 二宮尊徳みたいに道歩いてても教科書持って「宝塚なんてどこにあるんですか」いうかと思ったら、宝塚好きなんて本当によい方やと再認識したな。(笑) ステラ・ダラスいうのは、僕が勧めて三中で見に行ったら。僕は映画が好きで、怒られても怒られても映画ばかり見ていたの。怒られながらも見に行けたのは、やっぱり近藤校長が豊かやったんやな。「絶対行くな」言いながら実は許してくれとったな。それで三中では僕が映画選んで見に行くようになったんや。

宮崎「バクダットの盗賊」とかね。聚楽館へ行ってた。新開地にもよく行きました。「ステラ・ダラス」のラストシーンで、娘が結婚するでしょう、雨つぶがガラスにあたるのを窓の外から眺めるところなんか忘れませんよ。



メリケン波止場の匂いがなつかしいね



市民広場のあたりは夜になるときれいや



神戸の市電は世界一ハイカラやった

淀川 よう覚えてらっしゃる。男が田舎へ働きに行って工場長になるの。そこで女をひっかけて娘ができる。人がいいけど頭が悪くて教養のない女で、男は結婚しようかと思うけど、思いきれなくて都会へ帰るの。立派なお嬢さんの許嫁があつて、やっぱりこれと結婚する。娘のことが気になってね、このお母さんに育てられると娘はえらいことになると思うの。それで12くらいで引きとる。本当のお母さんは泣くけど、考えたらそうしないと立派な娘にならん。そして娘と音信をやめちゃうの。何年後かに新聞で娘が結婚するという記事を見て、どうなったかと雨の日結婚式をガラス窓からのぞく所があるの。警官に「あっち行け」と言われて去るのよ。ヘンリー・キングストン監督で、随分昔のサイレント映画なの。僕ね、一九五二年にキングストンさんに会ったの。僕のことやから汽車の別れからタバコすうとこまで微に入り細に入りしゃべった。そうしたら感激して、僕にまだ誰にも見せてない最新の作品を見せてくれた。見るのはいけど、一人だけで二時間も、もし途中でトイレに行きたくないなら、どうしようと思うたな。(笑)

柳原 僕は淀川さんには悪いけど、あまり映画は見に行っていない。宝塚は宮崎さんと同じで関西に住む者の特権やから、よく行きましたけど。天津乙女もまだ舞台にたっていました。モンパリーなんて当時の唄ですね。

淀川 そう天津乙女とか草笛なんか良かったな。こんな

こと言うとながわかるな。(笑)そやけど宝塚の山の中にあんなハイカラなもん作って、関西いうところは面白いな。

神戸の町は明るくてええな——花と緑と彫刻と

柳原 僕は今、神戸市の緑と水と彫刻の町づくりのお手伝いをしていて彫刻の部分の相談をうけたりしているけど本当に神戸は宇部と並んで素晴らしい彫刻の町になっている。緑と水が生きていて、神戸駅おりの所から裏の沢の水音が聞こえる。表に出たら噴水でしょう。うれしいですよ。この間も三中の連中に会ったけど、こんな良い町ないぞって皆感心していた。

淀川 ごまするわけやないけど、神戸は幸せや。こんなドリーマーな市長さんを持って。市長さんと会うなんておそれ多い話やけど、僕は三中のお蔭で「おお宮崎」って言える。ずっと前に一緒の車で山手を走って窓から見たら緑がきれい。「よかつたな。神戸は緑がきれいなかったな。これ、勝手にどんどん大きくなるからええな」と言ったら叱られた。「淀川君、これ金がかかるんよ。毎月手を入れないあかんのやで」って。(笑)市長さんは大変やね。夕べは神戸ポート・アホテルに泊まったけど、山側のイカリの電気見ててね、市長さんに明日会うと思うと考え方が変わるの。あれ毎晩電気代かかるんやな、とそのことばかり気になった。(笑)

宮崎 市章山の方は関西電力に寄付してもらった。イカリ山の方は、戦後の焼け跡の頃には金もなくて放置してあったが、最近になってポートピアをやることも決まったので、これも電燭しようということになった。省エネのために風力発電とソーラーシステムを使って、ライオンズクラブの寄付ももらい、ポートピアの前に作った。

淀川 あれはきれいや。デザインもいい。ハリウッドの山の手木看板があったり、ニューヨークに自由の女神があったりするけど、神戸のは町中どこからでも見えるからな。このマークはもっと鼻高くしていいね。

柳原 外国から船で帰ってくると市章のマークが一番に

目に入ってくる。これはうれしいね。

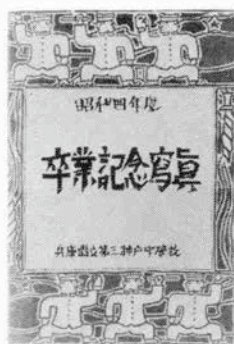
淀川 戦後しばらくね、僕の口ぐせは「昔の神戸はよかった」いうのやった。けど、最近また個性のあるきれいな町になった。これ、宮崎さんのお蔭やな。「ようになった」いう言葉使えるの、うれしいことやな。感心するのは、開発で裏山を掘っても、表の緑がくずれてない。

宮崎 僕は山を切るような時は、水族館の上から望遠鏡で見て指示するんや。山と山とが重なっているような所やったら後側を切ってもいい。そしたら前がスカイラインになる。須磨寺の裏山は自然林になって素晴らしい。あそこは切ったらいかん。その裏側を切れ、といって出来たのが高倉台なんですよ。

淀川 うちは大正2年ごろ須磨寺に墓をつくったの。きのう母の命日で墓まいりに行っただけど、むこうの山肌は戦前から全く変わってない。うれしかったな。あれが赤むけになっとったら辛いもんや。

宮崎 それと木を切ったあとは、すぐ新しく植えるようにする。5年くらいは山肌が出るけどな。その後はだんだんとわからなくなる。

柳原 本当に大変な仕事やと思う。有馬に至るまで神戸でしょう。名谷なんか行ったら大変な発展でびっくりしますよ。僕らの覚えている頃は、街のどまん中に汽車が



上は三中4回生の卒業アルバム
宮崎市長秘蔵の卒業アルバムを公開して「勇前やった」ことを証明。

左は、上から石野信一(太陽神戸銀行会長)、宮崎辰雄、花森安治(物故、「暮らしの手帖」元編集長)氏らの若き日の姿。



走って踏切が多すぎるとか便所が少ないとか、歌ってたけれどね。

宮崎「居留地、便所が少なすぎる。ラメちゃんたらギョチョンチョンでパイのパイのパイ」って言ったんだ。(笑)
柳原 緑を破壊しないでここまで町を発展させたのはえらい。こんなに明るい町は世界にないですよ。

ポートピアはアットホームな感じがええな

柳原 僕は山口勝弘さんのビデオアットに感心した。神戸館の展示も世界一大きなスクリーンを使ったでしょうこれは大へんな博覧会やなと思った。

淀川 僕はまだ大阪ガスしか見てない。博覧会というのは活動写真の発展のもとです。エジソンや何かでもそうですよ。アメリカやフランスでやった万博に日本のえらいさんが行ってきたて紹介したそうや。僕はきのうもポートピアに泊まったけど、奈良や茨城や仙台やとあちこちから来てる人でにぎやかやった。

宮崎 アンケートとったら行っている人の85%は神戸以外の人や。我々は神戸のイメージを少しでもアップするのが目的なんで、その方がうれしい。ポートアイランド自体が、海上に一つの町をつくったということで珍しい。ポートライナーも少しトラブルはあるが、珍しい。天皇陛下も市民広場駅でおられる時には「もうおられるのか」と言われた。



僕なんかに花隈の下町の置き屋の子や



東山勉夷さんは2中、近所で遊んでた



中学校の同窓生ってええもんやな

淀川 新神戸駅からタクシードポートピアに行く時、運転手に「一ぺんポートライナーにのりなさい」と言われた。無人やし座席が少ななくてゆったりしてる。僕の連れの男の子が国鉄に勤めてる子やけど、二重ドアみてあんなの初めてやとびっくりしてた。乗客がいろいろ教えてくれたそうや。みんなが愛情もっているね。

宮崎 景色がいい。窓に背をむけて普通腰かけるでしょう。陛下は窓側むいて背中まげて外を見てられた。よほど楽しかったんやね。観覧車に乗ったかと質問されて、「いや気持ちわるいから乗りません」とお答えしたら笑っておられた。

淀川 万博よりアットホームで、ずっと誘惑感あるな。海が周りにあって全部が遊戯場や。東京の人もみんな来たい言うてる。

柳原 会場全体に肩のはった威かく的なものが全然ないでしょう。これが特徴やね。パリでもエッフェル塔こさえたけど、神戸は周囲に街があつてポートライナーが走ってて海があつて自然にやつてる感じがや。

淀川 何か楽しいなあ。子どものおもちや箱みたいな楽しさあるくせに、フィルムなんか見たらみんな本格的なんや。神戸って不思議やなあ。こんなええ街は他にないな。ニューヨークへ行っても神戸の方がハイカラや。芯から西洋文化が身についてる。小磯さんや柳原さんも、この町の中から生まれたんやな。(神戸市役所にて)

もうさんの
ポートピア'81
漫画探険

運次第博

高橋 子皿

〈漫画家〉

運がよけりや 運がよけりや



神戸市兵庫区のが家も、次々と親類が来て、ポートピア見物しているが、神戸にいる私は三カ月も過ぎて、やっと見物する機会を得た。連日大変な人だそうで、先ずは成功、市民として同慶のイタリ。

★立往生しなかったポートライナー、運次第。

さてさて、「行列博だ」「うんざり博だ」などとさんざ悪口を言われながらも神戸博の玄関口になった三宮駅は、人の波が押し寄せている。様相を一変した三宮駅界隈は、神戸在住の私でさえ一瞬通路を見失うくら



いだから、慣れない遠来の客は、同じ通路を二、三回は往ったり来たりしているらしいのでなお混雑している。生来の方向音痴も重なっている私に、いきなり道を尋ねられても即座に答えられる筈がない。客のかわりに標示板を素早く盗み見「ポートルライナーの乗り場はこのエスカレーターを上って下さい」と、客と一緒に歩きながら自分自身も確めている始末（三宮から乗るのは初めてだった）。それでも、やっと神戸市民としての面目をほどこした気持ちになって私は満足顔。

この、ポートルライナーは開幕前から有名になっていた。走ったり止まったりしていたので、

「ポートルライナーやないポートルフ、ライナー」

と、これも、悪口を言われながら親しまれるようになっていく。まさか、PRのためにわざと止めたのではないだろうが、一度立往生するポートルライナーに乗って見たいと思ったりするのだから人間不思議なものだ。何事も、あまりスムーズに事が運ぶと話題に欠ける。運よく、その日のポートルライナーは待ち時間もなく気持ちよく運行された。乗心地も、

「ギクシャクして乗心地が悪い」

と、聞かされていた先入観が、かえって私の乗心地をよくしたようである。

★案外、人は少なかった、運次第。

ポートルピアも運次第。遠来のお客さんはなおさらだが、近くにいても、そう何回も来れるものでもない。出来る



パンダ。二時間半も待たされて、
 ンダちゃんも疲れていたらしく、
 「寝たままで、ちっとも動かへんやった」
 と、悲しそうな声を出していた。ところが、次に来た組は運がよかつ



だけスムーズに一回で各パビリオンを
 二千円分（入場料）見て帰りたいと思
 うのが人情、見られたパビリオンが多
 い程コストが安くなつて「予定終了」
 の気分になる。まるでパチンコ屋に行
 くような気持である。客は観客の少な
 いことを願うのだが、主催者は反対に
 観客の多いことを願っているわけ。ど
 ちらも天候を含めての「運次第博」。
 こちらを立てればあちらが立たず、主
 催者も気を遣うところだろう。

午後三時を過ぎていた会場は、割合
 すいているようで、観客の表情も明る
 い。観る方には運の良い日のようであ
 る。メインゲートの内側で、数名の係
 員が並んでカチカチカチカチ、さなが
 ら、パチンコ台をはじくように計数器
 を握って入場人員を記録していた。私
 には、「もっと入れ、もっと入れ」と
 言っているような気がした。

★可愛いパンダ、動いた！ 運次第。

運次第といえば、わが家の親戚も、
 ゴールデンウィークにやって来た組は
 空クジを引いてしまったらしい。ポー
 トピアのお目当ては、なんととっても
 疲れ果てて帰って来た。おまけに、パ



た。折よく待時間も少なく、
「パンダの仕草がほんまに可愛かったーッ」
と、この時はパンダも元気だったらしいのである。ところが、よせばいいのに嬉しさのあまり、運の悪かったゴールデンウィーク組に長距離電話で早速報告している。
「パンダが可愛かったよー動き回ったーッ」

と、声はずませた途端、ガチャン…と電話を切られてしまったらしい。

★人気パビリオンも見た、運次第。

場内の売店も、運次第のようで、お土産のパンダが活発に「動いて」いる店もあれば、観客の流れによってか、パンダがビニール袋の中で疲れ果てたように寝たままでいる店もある。飲食店も、異人館通りあたりは繁昌しているようだが、ポートピアランドあたりの食堂は、観客が多い割には入りが少ないようである。私は乗らなかったのだが、ひよっとすると、コースターで気分を悪くして、折角の食欲を無くされているのじゃないだろうか「こんな筈ではなかったに…」といっているような店員を前に、私はポツンと一人、カレー注文した。

とても全部は廻れなかったが、前日天皇陛下がご来館されたテーマ館、兵庫縣館、神戸館をはじめ、ダイエーパビリオン、UCCコーヒー館など、人気パビリオンが見られただけでも、その日の私は運がよかった。

未来空間を体験する祭典

ポートピア'81

特報 神戸博のポイントガイド



★会期：3月20日～9月15日
開場午前9時30分・閉場午後9時30分
★入場料：大人2,000円、高校生1,200円
中・小学生1,000円、幼児400円
(午後4時半以降は夜間割引あり)

ポートピア'81
催し物

ポートピア吹奏楽祭
7月26日 国際広場

暑さをふつとばす大ファンファ
ーレが海上文化都市に響きわた
る。近畿の各大学、高校、中学校
小学校各団体の吹奏楽団が集って
の大ブラスショーである。

アフリカ民族舞踊

7月28日～8月1日 (国際広場)



アフリカの民族舞踊

激しいリズム、獲物を
追い求め自然の中で融け
あつて生活した太古の歴
史を彷彿とさせるエネ
ルギッシュな動き。アフリ
カ・セネガルの民族舞踊
団がアフリカ各地に伝わ
る力強い民族芸能を披
露、美しい民族衣装がダ
イナミックに躍動する。

ポートピア・インターナシ
onal
ジャズ・フェスティバル

8月3日～6日 国際広場

国内の一流ジャズ・ブレイヤーとコンコード・ジャズ
フェスティバルのプロデュサーが率いるコンコード・

第一部

オールスターズが出演する大規模かつ世界的なレベルの
ジャズ・フェスティバル。我が国のジャズ評論の第一人
者、野口久光氏が企画構成し、豪華な顔ぶれが登場して
競演する。第一部(午後4時～6時45分)は国内の演奏
者が、第二部(午後7時～8時30分)はコンコード・オ
ールスターズが出演する。

★3日/三木敏悟とインナーギャラクシー・オーケストラ、中本マリ

★4日/ニューオリンズ・ラグ・ピッカーズ、ニューオリンズ・ラス

カルズ、サウスサイド・ジャズ・バンド、大丸ニューオリン
ズ・ジャズ・バンド、世良譲トリオ、北村英治、光井章夫、
松本英彦、アンリ宮野

★5日/古谷光とザ・フレッシャメン、タイム・ファイブ、本多俊之
とバーニング・ウェイブ、阿川泰子

★6日/関西学院大学KGSイング・チャリオティアーズ、同志社大
学サード・ハード・オーケストラ、静岡フレッシャメン・オ
ーケストラ、ジョージ川口とスーパーバンド、大野えり

第二部

★3日/6日/コンコード・オールスターズ

スコット・ハミルトン・ハートツ、バディ・テイト・ハートツ、アル
コーン・ハートツ、デブ・マッケンナ・ハートツ、カル・コリンズ
・ハートツ、ボブ・メイズ・ハートツ、ジェイク・ハナ・ハートツ、北村
英治・ハートツ、光井章夫・ハートツ、松本英彦・ハートツ

司会は、第一部・末広光夫、行田よしお 第二部・カール・E・ジェ
ファーソン



上/左よりジェイク・ハナ、カル・コリンズ、スコット・ハミルトン 中/ニューオリンズ・ラスカル 下/左より中本マリ、三木敏信、北村英治

リオのカニバル

8月15日〜23日 国際広場

何百万人というキヤリオカが一年分のエネルギーをこのカニバルで燃やしつくし、興奮とサンバの強烈なリズムが多数の死者まで出すという有名なリオのカニバルがポルトアイランドへ上陸。世界で最も盛大で熱気あふれる祭といわれるリオのカニバルに祭好きの神戸っ子が加わって大はしゃぎ。今回来日するのは本場ブラジルのリオのカニバルで入賞したチームから選抜された男女30名で、京阪神のプロ、アマグループも加わって競演。観客飛び入りのサンバコンテストなども予定されている。

ポルトピア盆踊り

8月7日〜9日 国際広場

夏の夜は何といっても盆踊りが最高だ。うちわ片手にゆかた姿も凛々しく民謡にスイングしよう。「月が出た出た」から「河内音頭」まで懐かしいメロディにのって体を動かせば初対面の人もすぐ友人になれる。潮風のそよぐポルトアイランドで、青い眼の外人さんも混えて涼を求めて楽しもう。

日本のまつり

8月12日〜14日 国際広場



阿波おどりの季節も近い

豪華絢爛、勇壮にして哀感の漂う祭ばやし。長い歴史の中で、民衆の生活する喜び、悲しみ、祈りが織りあげたのが各地に伝わる祭だ。竿灯(秋田)、御陣乗太鼓(石川)、鬼剣舞(岩手)、山鹿灯籠(熊本)、六斎念仏踊(京都)など日本の代表的な祭りのページエント。神戸っ子の大好きな阿波おどりに石見かぐらも登場



リオのカニバルがやってくる

外国招へい催し物

ポルビア 8月5日

日本ユネスコ 8月7日

スリランカ 8月9日〜11日(10日はナショナルデー)

インドネシア 8月16日〜18日(18日はナショナルデー)

マルセイユ市 8月19日〜23日(19日はナショナルデー)

ふるさとの日

愛知県(7月23日)、徳島県(7月29日)、熊本県(7月30日)、茨城県(7月31日)、滋賀県(8月1日)、愛媛

県(8月9日)、石川県(8月11日)、佐賀県(8月13

日)、埼玉県(8月14日)

(7月20日以降約1カ月間の主な催しについて紹介しました)

ファッショナブルな雰囲気の
本格派の中国料理店



〈メニュー〉

日替りランチ…… 680円
(11AM～2PM)

飲 茶…… 350円
(中国風ティータイム)

ファミリーコース…… 2,100円
(女性のみ/おむき/お名前)

コース…… 10,000円
(2名より) から

紙包牛肉…… 1,800円
(牛肉の蒸し焼)

白 烩 魚 翅…… 1,600円
(ふかひれスープ)

什錦炒麵…… 450円
(ヤキソバ)

涼拌麵…… 800円
(冷メン)

Chinese Restaurant
ファナ・ドル



宝塚市中洲1丁目2-24-101
TEL 0797-73-6445
午前11時～午後9時 木曜休

こうべにふれあいのディテールを



粥の店「榮林」(グリーンシャポービルBF)

商業施設全般・調査企画・店舗装備・設計施工

心の通う店創り 本 社 神戸市中央区御幸通3丁目2-20

(設計室) TEL (078) 252-1321代

神戸事業部 TEL (078) 251-3525代

名古屋事業部 TEL (052) 561-3618

東京事業部 TEL (03) 278-1369

nick
KOBÉ NAGOYA TOKYO

神戸日建

●ローン・リースの開店資金相談

経済ポケット ジャーナル

★ファイブ・フライズの 第一号店は三宮に



オランダのファイブ・フライズ

・「フライズ」と提携し、実験店舗としてポートピア会場に出店しているが、十月には三宮にその本格的な一号店として開店する計画。

ファイブ・フライズは、オランダ国内三十カ所のほか、欧州各地に四十カ所のチェーン網をもつホテル、グランドホテル・クラスナボルスキーのレストラン部門で、創業三百五十年の伝統を誇っている。

シンエーフーツが日本で展開するファイブ・フライズ



ズは、チーズをふんだんに使ったオランダ料理など、約七十五種類のメニューのなかから日本人の口に合うものを厳選し、店内もアムステルダムの本店と同様な重厚な趣きとする計画。

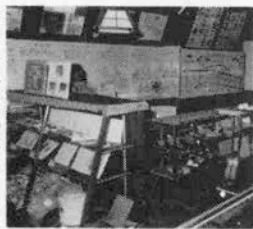
また、オランダ国内でも共同して日本料理店などの事業を推進していく意向も整っている。

★甲南漬本舗が

資料展示室を一般公開

今年、株式会社創立50周年を迎えた高嶋酒類食品株式会社

△高嶋平介社長、本社、東灘区▽



資料展示室

が、これを記念してこのほど、大正11年に建築した本店内に甲南漬資料室を設置、一般に公開することに

なった。

同社は明治三年に焼酎の醸造を始めてから一一年の歴史をもつが、これまでに蒐集した奈良漬、味淋、灘五郷の酒に関する資料約五百点が展示されている。

「奈良漬をサンドイッチや西洋料理のオードブルとして大いに活用して欲しい」と、奈良漬の良さの再認識を訴える高嶋社長だが、この展示場を地域の人たちの無料の展示場、集会場としても開放するなど、商品の普及とともに、地域社会とともに歩む同社の姿勢がよく伺える。

本店／東灘区御影塚町4-4-8（阪神新在家駅下車南） ☎841-1821 8・30 AM 15・30 PM 無休

★nick・神戸日建が

今年で創業20年

昭和36年、神戸に産声をあげ「心の通う店創り、一

★KOBEOフェイスレディ



丹羽雅子さん(22)
△朝トッパナッチ▽

海外旅行のあつ旋というのは、勉強にもなり夢のある仕事だ。丹羽さん自身、スリランカで2年半過ごしインドへも2回訪れたりと世界を股にかける熱血レディである。ソフトボールが得意で、男性チームのエースを努め、持ち前の剛速球が男どもをキリキリ舞いさせている。しかし、心底は優しい女性であると見た。

店入魂」をモットーに神戸を代表する数々の店舗装飾設計施工を手がけてきた株式会社神戸日建が、創業20年を迎えた。



20年を祝って乾杯、右端が小野原社長

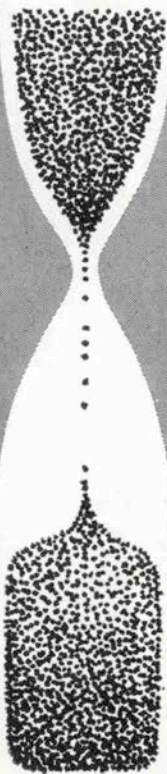
5月14日、オリエンタルホテルで喜びと感謝をこめて「ニック・ビューティフルナイト in KOBEO」を開催。

約200名の招待客を集めて小野原啓次社長が「20年を機に一層の努力と研究を重ねた事業に励みたい」と挨拶、遠藤喬士、熊野彰彦、上島忠雄、砂田重民、滝川博司氏らが祝辞を贈った。

★キャンペーン

国際文化都市神戸を

考える



(44)

今こそファッショ 街区の総点検を

木口

衛

△株式会社ワールド会長▽

川上

勉

△オールスタイル株式会社社長▽

柿本

公資

△伸和スタイル株式会社社長▽

松岡

賢蔵

△株式会社パール社長▽

細川

数夫

△株式会社ジャグワ社長▽

「ファッショ街区」は神戸一〇〇年の計だ

——今回は、ポスト・ポートピアに建設が予定されています「ファッショ街区」に進出を予定されている各社にお集りいただき、ご意見をお願いしたいと思います。

柿本 これは、大阪のあるメーカーの常務から聞いた話ですが、東京へ機能を移して、これがよかったというこ

となんですね。なぜよかったかというと、まず東京は人

が多い。文化服装学院でも一万人も生徒がいる。ドレメ

にも多い。ファッショ関係の人をとるのに事欠かない。

デザイナーにしても一年契約にしている。これが何としても強味だというわけですね。たとえば神戸でデザイナーを募集しても人数が集まりにくいということがありませんね。東京だと一年契約で十分に人がとれる。その点、神戸にしても、大阪にしても弱いところがある。どうし

ても人材が東京に片寄ってしまうわけです。

たとえば文化服装のような学校を神戸に設置してもら

う。F.I.T.（ファッショ工科大学）が無理でも、文化

服装的な、あるいは、モード学園的な学校でもいいから

まず神戸で設立する。それで若い人材を育てて行くこと

がないと、われわれの業界が大きく伸びることはできな

いと思いますね。

木口 ファッション大学については、これは何も神戸だ

けの問題ではなくて、東京も大阪も京都も全部が言っ

ている。地方都市だけでやっても恐らくちゃんなものにな

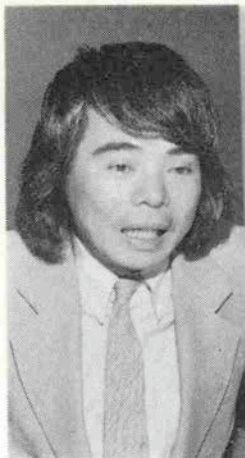
るだろうし、全国的な発想で、そういうものはどこにつ

くつたらいいだろうか、ということになると思う。その

意味で、その下地づくりをわれわれがやらなはいけな

い。大学とまでは行かなくても、ハイレベルの学校でも

つくるのであれば、神戸につくるのがいろんな意味でい



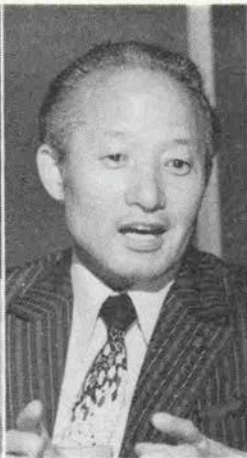
細川 数夫さん



松岡 賢蔵さん



柿本 公實さん



川上 勉さん



木口 衛さん

いのではないか、というコンセンサスを得られる動きや発言を、これからの私たちはやって行かないといけないと、まず、思いますね。

川上 人材育成は当然のことで、人材が神戸に集って、なおかつ神戸からあふれ出して行くようになって欲しいし、そのためには、それなりの行動が必要ですね。ファッション大学の構想や、ファッションフェアやファッションデザインコンテストは今は小さい規模ですが、将来は大きなものに、という構想があって、現在、少しずつ動き出している。実績が必要であって、いっきよに出来るわけではない。実績ができて、それが実って行き拡大され、たとえばデザイナーを志す人、技術をもった人など、いろいろな人が神戸に集まらないといけない。

そういうことにつながつて行くためにも、ポートアイランドのファッション街区が問題になって来ますね。

どういうファッション街区であって欲しいか、ということを考えるときに、まず、ポートアイランドのなかでのファッション街区ということがある。さらに、「母なる神戸」というか、新しいファッション街区をポートアイランドに生み出そうとしている「本土」の神戸。それとの関連で見ること必要となつて来ます。

つまり、神戸に今まで集つてくれた人たち、売りに来る人、買いに来る人、ファッションの仕事に携わる人、そういう人たちがファッション街区と本土の方の神戸とに分割された形になってはいけない。そうなのは、顧客吸引力という点でマイナスになる。今まで本土の神戸に集つてくれた人がポートアイランドへ流れるというのであれば、ファッション街区をつくる必要はまったくないわけです。顧客の取り合いをしてみても始まらない。今まで神戸へ来られなかった多勢の人たちが、ポートアイランドのファッション街区へ集つて来て、その人たちが本土の神戸へ流れ出し、神戸全体が潤おう、というような方向になって行く必要があると思います。

松岡 ポートアイランドが神戸の一つの目玉となるため

には、やはり、既存市街地にあるようなものだけではダメですね。発想としては、二十一世紀を想定した町づくりを考えて行かないといけない。まったく新しい観点から町づくりを進め、世界のファッションに携わる人々が見ても素晴らしいという町ができることが、ポートアイランドの繁栄につながるわけですね。そうすれば当然、人も集って来るようになります。

川上 問題は、現在、ファッション街区へ進出することを決めたり、希望している企業が社屋を建設して営業を始めたときに、それだけで、顧客吸引力があるのかどうか、ということですね。つまり、東京を主体としたファッション企業が参加して来るのかどうか、その社数の見通しが現状では、まだ、ごくわずかしかな立っていない。

今の数十倍の企業が集って来ることになって始めて大きな顧客吸引力になる。それが、まだ集って来ないうちにファッション街区の建設が始って、そこで営業が行われた場合には、人がどんどんと集って来て賑わうということにはなりにくいのではないかと。言うのは、今、進出が決っているのは、地元の企業が殆んどで、それは力を分散するに過ぎない。そういう点から今、神戸市側で進められているファッション街区建設のスケジュールには大変な無理があるのではないかと思います。メリットよりもリスクの可能性の方が大きい。地元以外の企業が集って来る見通しが立った時点で、実行して行くべきではないのか。勿論、それまでにわれわれが先兵として行け、というのなら分らないわけではないですが、それでも実行となったら、これは大変な問題を抱えています。ただ単にスケジュールにそって強行するという場合には大きな困難を伴うのではないか、という危惧を強くもっています。神戸一〇〇年の計であるだけに、急ぎ過ぎるのは問題があるのではないかと、思いますね。

卸機能だけでは賑わいのある町は出来ない

松岡 ファッション街区はポスト・ポートピアの目玉に

なっていますね。いいものにするのは当然のことですが実際に完成させるのは、大変な事業です。ましてや、経済状況がもう一つパツとしない時期だから並み大抵のことでは実現しない。神戸市がいうように、二年以内に完成するというのはきつい話ですね。神戸市は理想をどんどんと要求して来られる。われわれとしても理想に近づけるように努力はしますが、莫大な資金の要ることもあり、そうそう神戸市のいわれるようには行かない。その点、調整が必要になって来ますね。

細川 当初、神戸市側は、ファッション街区では卸だけだと言っていたのですが、規制が大分緩和されたようですね。喫茶店やブティックもいいと、私は理解しているのですが。卸売団地という形態では非常に寂しい。できれば、今までの旧市街地とは違った賑わいのある町が一番理想的だという感じがするわけですね。

ファッション街区には、りっぱな企業がたくさん来ていただかないといけないのですが、それらが出て来る土壌に、われわれが先発隊として進出し、これだけ素晴らしいんだということを知らせる努力が必要だと思っています。ファッションとは生活そのものであって、洋服だけ売っている人は人が集まらない。やはり、食べるファッション、飲むファッション、踊るファッションなどがある。そこに卸売り団地ではなくて、サービス業の形態が許されない、その町は潤おわないです。

川上 今のところ、神戸以外からファッション街区へ進出する企業が余りにも少ないわけですが、たとえば、大阪のOMM(大阪マーチャンダイズマート)や、東京のTOC(東京卸売りセンター)でも入居者が八十パーセント以上決ってから、開館しています。オープンまでには入居者の八十パーセントを集めているわけですよ。ファッション街区の場合は、余りにも核テナントにリスクがかかって来ている。まだ三十社に満たないですね。二百社集めるとすると、一五〇〜六〇社の絵が画けて来てからいろいろと実際の作業に入っていく、ということ

望みたいですね。

木口 ファッション街区建設については、行政の方も、いいものをつくらうという信念に燃えていて、われわれの意見を聞きながら、よりよいものをつくらうという姿勢には変わりがないわけですね。細川さんの、小売り部門がなければ人の往来がなくなってしまう、という提案については、市の側でもそうだな、ということになり、そういうことのひとつの積み重ねの上で、だんだんといいものが出来て来ると思います。

たとえば、今、各社は自分の土地に思い思いに設計をしていて、それは一応できています。それで、各社が設計したものを一度貼りつけてみて、設計者を全員集めて、全体としていいか悪いか、を検討しよう、そういう話し合いのなかから手直しをしよう、ということをやろうとしている。これは非常にいいことだと思う。そういうことの積み重ねでものが出来て行くのじゃないかと思えますね。みんなが時間をかけて、この方がいいのじゃないか、という提案によって進めて行くのが本当じゃないですか。神戸商工会議所、神戸市とわれわれが一体となつて、積み上げて行つて始めていいものが出来る。短兵急に、時間に縛られて追いついて行けるようなことでは、これはなかなかうまく行かんでしょうね。出来るだけ早くやって欲しいという市の意向は当然でしょうが、しかし、時間がかかりますね。

川上 ファッション街区づくりは神戸一〇〇年の計であるだけに、いいものにしていう神戸市の計画をさらにもういっぺん点検してみようということは必要です。それによって計画が二年ほど遅れてもどうということはないと思いますね。今、やらないとどうにもならない、ということも一面にあるかも知れないけれど、そうでない部分がない分と大きい。ここでしばらく足踏みをして研究をしてみることとは、いいことだと思います。木口 神戸市としては、ホテルや国際交流会館も出来たので、ある一定の期間でやりたい、という気持ちは相当

に強いでしょうね。ですから、われわれとしても、そのんびりとはやれませぬね。

今こそじっくりと検討すべきだ

細川 ファッション街区に将来全国の有名なメーカーにキーテナントとして来てもらうわけですが、われわれが勝手に鉄筋コンクリートでビルを建ててしまうと、次にそういう企業が入って来たときにゴチャゴチャになってしまう。だから、そういう将来の景観をまず考えてからお互いにビルの建築を考える必要がありますね。

柿本 それと、新神戸駅からポートアイランドへの直通の交通機関はどうしても必要ですね。そうしないと、便利さという点でどうしてもマイナスになる。地方から来る人は大抵新神戸駅を利用しますからね。だから、卸売り団地をつくるのなら、むしろ、新神戸駅の近くがいいでしょうね。

松岡 問題なのは、橋が一本しかないという交通の問題ですね。ポートアイランドにいい町づくりをしようと思えば、やはり、人が喜んで集まるようにしなければいけない。それが今の交通網ではちよつと不備ですね。乗り物もさることながら、一番いいのは、三宮からポートアイランドへ客の歩ける動線をつつくることです。ぶらぶらと散策しながら、ポートアイランドまで行ける。歩行者を優先した橋が欲しいですね。歩いて心が和むというか、ゆとりをもって楽しみなながらポートアイランドと三宮を往復できる道路と橋が欲しいと思います。ポートアイランドのなかだけが素晴らしいと思います。遊歩道になっていることが必要ですね。

川上 問屋だけだと来る人もごく限られて来ますし、多くの人に来てもらうためにもファッション企業にぜひ分と多く集ってもらわないと困る。そうでないと、いろいろな人が集ることにならない寂しいところになりますよ。細川 われわれが出た段階では、まだまだ寂しいと思ひ

ますね。だから、外から人を引きつける何かを、われわれがつくり上げないといけない。そういう意味での基本的な考え方をどうもつか、が非常に重要になって来ます。物販で賑わうというか、いい憩いの場になって人が来るという形態になるように、それは十年先になるかも知りませんが、賑わいのある景観をどうつくり上げるかを、最初に進出したメンバーでもう一回討議したいという気持ちがありますね。

木口 いいとか悪いとかの結果は別として、どんどんと提言をする。それについてみんなが模索をして前へ進める。それが順序ですね。短兵急に決めてしまうことには危険性がありますよ。

細川 ファッション街区は現にスタートをしていて、一応貼りついたわけですね。今度はその町をどうするかという、われわれの読みですよ。われわれがどれだけ人を引っ張って来れるか、その形態をどうつくり上げられるか、ですよ。コーヒーションブぐらいは出来るかも知れませんが、初めからブティックを呼んで来ようと思っても、売れないから来ませんよ。進出して直ぐには無理ですね。しかし、十年後には、絶対にそれが必要だという状況が出来るかも知れない。そのときのために、そういう形態が可能なビル構成をやってもらいたいですね。当面の間は別の形で使っておいてでもそういうスペースを確保するという事です。

木口 北野のように一軒が店を出して成功したら、また別の誰かが店を出すというように、自然につくられて行くわけですね、町というものは。

細川 だから、将来、変更の出来ない形態での町づくりはしたくないな、ということですよ。たとえば、ホテルとファッション街区のストリートをつなげて、相互が潤おう形態を考えて行かないといけない。

川上 もう一度、専門家に見直してもらって、町づくりそのものを根本的に検討し、意見を聞いて勉強するということが必要で、決して焦っては行けない。そういう状況があるということですね。

柿本 以前、川上さんがおっしゃっていた衣裳博物館の

構想ですが、そういう博物館と美術館のようなものをつくって、客が来て流れるということも考えないといけないと思いますね。

細川 ファッション街区は一つの素晴らしい地区に成り得る可能性はある。従来の神戸のもっているイメージとは違うものを創造して行かねばならない。僕は国際交流会館や神戸ポートピアホテルが出来上ったときに見せていただいて、これならわれわれも頑張れば、この町では何か出来るような感じがした。将来的に新しい形態の町が出来そう、だ、潤いのある町の可能性はある、と感じています。

松岡 神戸が世界のなかでも有数のファッション情報基地であり、ファッション生産基地をめざして行くには、ポートアイランドに単に産業だけが集まるのではなくて、いろんな機能を増やして行けばいいと思います。ファッションに携わる人が喜んでポートアイランドのなかで満足をするような環境づくり、ファッションに係ったイベントのできるような環境づくりが必要ですよ。そこで働いている人だけが往來するのでは楽しい町にはならない。そういうことから考えても、一年や二年で完成させるという短兵急なことは無理なんですよ。余りに短兵急にしたいためにまずいことになってしまつては何にもならない。完成させるまでには時間をかけてやって行くという姿勢が必要なんじゃないでしょうか。神戸市の考えでは完成は昭和五十八年ということですが、そういうことを前面に打ち出されると成るものもなくなるのじゃないかと思えます。出来ることから順次仕上げて行くということではないと、なかなか難しいですよ。

われわれが当初にファッション街区をつくろうと提案したのは、あくまでも神戸にファッションのメッカをつくりたいという理想をにかけて、出来るだけそれに近づけるように努力して行こうということです。いい町をつくってみようということです。それには厳しい現実があるわけですから、行政ベースで進められることは非常にいいですが、企業サイドの事情も汲み取ってもらいたいと思います。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエーシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センタープラザ東館 8F
TEL (078) 392-2101

株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594

